

沪江网
YesHJ.com

日语频道 媒体推荐

N2 模拟题

◆ 新日本语能力考试辅导丛书

新日本语能力考试

丛书总主编 吴侃 本书主编 陈露 陈崇君 余祖发 陈月娥

新考纲 新题型 新思路 新对策

新日本语能力考试辅导丛书

新日本语能力考试 N2 模拟题

丛书总主编 吴 侃

本 册 主 编 陈 露(文字词汇)

陈崇君(语法)

余祖发(读解)

陈月娥(听解)

本 册 编 者 陈 露 陈崇君 范 菲

余祖发 陈月娥 河合玲子

尤东旭

上海交通大学出版社

内 容 提 要

本书为新日本语能力考试辅导丛书中的 N2 级模拟题,全书由工作在日语教学第一线的教师根据新的考纲和题型编写。全书题量大,共有 8 套模拟题,附录中提供答案和录音原文。

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试. N2 模拟题 / 陈露等主编. —
上海:上海交通大学出版社,2012
(新日本语能力考试辅导丛书)
ISBN 978-7-313-08078-3

I. ①新… II. ①陈… III. ①日语—水平考试—
习题集 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 000429 号

新日本语能力考试·N2 模拟题

陈 露 陈崇君 余祖发 陈月娥 主编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030)

电话:64071208 出版人:韩建民

常熟市大宏印刷有限公司印刷 全国新华书店经销

开本:787mm×1092mm 1/16 印张:13.25 字数:316 千字

2012 年 2 月第 1 版 2012 年 2 月第 1 次印刷

印数:1~5030

ISBN 978-7-313-08078-3/H

ISBN 978-7-88844-619-9

定价(含 MP3):32.00 元

版权所有 侵权必究

告读者:如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系
联系电话:0512-52621873

前 言

日语能力考试于1984年开始举行,迄今已有26年的历史。从2010年开始,日语能力考试出现了很大变革。为与过去的能力考试进行区分,2010年之后的考试被称为“新”能力考试,用“N”来标示。比较新旧能力考试,其显著变化主要有以下几点:

第一、级别由原来的四级变成五级,即N1、N2、N3、N4和N5。由于旧能力考试2、3级之间难度跨度过大,知识衔接不太合理,所以,在“新”能力考试中增加了N3,这相当于旧能力考试中2、3级之间的过渡级别。

第二、更加注重考查学习者的语言综合运用能力。根据日本国际交流基金网站公布的考试纲要可以看出,在“新”能力考试中,文字词汇和语法等纯粹记忆性的题目数量有所减少,而考查语言综合应用能力的阅读和听解则相应增多。

第三、合格认定标准的变化。由于更加注重学习者的语言综合运用能力,所以,“新”能力考试的合格认定方式由原来的只看总分改为总分和各部分分数都必须合格。

第四、考试次数(N1、N2、N3)由原来每年一次增加到两次(7月和12月)。

由于“新”能力考试相应减少了文字、词汇和语法部分的比重而大大增加了听解的比重,所以中国学习者就很难再凭借原来的汉字优势来通过考试,而必须通过全面提高日语综合运用能力来通过考试。

为帮助中国学习者积极应对“新”能力考试中的重大变化,更加快捷有效地提高考试成绩,本书编写人员以“新”考试纲要为指南,在综合对比研究历年试题的基础上,根据多年积淀的教学经验和对日语语言的深刻理解和认识编写了本套丛书。丛书针对每一个级别的每一个项目(文字词汇、语法、读解、听解)均单独编写,并针对每一个级别的考试编写了模拟题。本丛书编写人员从事日语教学多年,一直活跃在日语教学第一线,教学经验丰富。希望本书能够对各位考生有所帮助。

目 录

模擬テスト 1	1
模擬テスト 2	18
模擬テスト 3	35
模擬テスト 4	53
模擬テスト 5	70
模擬テスト 6	87
模擬テスト 7	103
模擬テスト 8	121
 附录	 139
答案及解析	139
录音原文	146

模擬テスト 1

言語知識(文字・語彙・文法)・読解

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- [1] 道路を渡るときは、いきなりとび出さないで、右左をよく確かめて、手をあげて合図をしてから渡りましょう。

1 ごうず 2 あいと 3 ごうと 4 あいず

- [2] 両チームの代表が握手を交わして、交渉に入った。

1 あくしゅ 2 あくて 3 にぎて 4 おくしゅ

- [3] 鮮やかなピンク色の体をした昆虫を見かけた。

1 はなやか 2 にぎやか 3 あざやか 4 あでやか

- [4] 雨具の専門店で雨傘を買った。

1 あめぐ 2 あめど 3 あまど 4 あまぐ

- [5] 歴史上の偉大な人物から学ぶものは多いです。

1 いたい 2 いだい 3 えらい 4 えだい

問題2 _____の言葉を漢字で書くとき最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- [6] ビールをたくさん飲んで、電車で帰宅する途中にあばれた。

1 暴れる 2 乱れる 3 爆れる 4 破れる

- [7] おうふく葉書で入会の申込書を送った。

1 住複 2 住復 3 往復 4 往複

- [8] でんか生活はますます便利になった。

1 電荷 2 電化 3 天下 4 添加

- [9] あの人は3億円の宝くじに当たって、毎日ごうかな食事を食べている。

1 豪華 2 豪花 3 高価 4 効果

- [10] 解答の間違いのうむを調べてください。

1 有無 2 熟む 3 無有 4 是非

問題3 _____に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- [11] 彼と二人だけでいると _____と感じる。

1 重苦しく 2 生々しく 3 息苦しく 4 愛くるしくて

- [12] 彼女が私の言葉を間違って受け _____らしい。

1 取った 2 入れた 3 つけた 4 負った

- [13] 私の車はそのバスを追い_____。
 1 かけた 2 込んだ 3 越した 4 出した
- [14] 顔は知っているのですが、いつどこで会ったか思い_____ない。
 1 切れ 2 付け 3 当たれ 4 出せ
- [15] 娘はいつも私たちの話に_____込んで来た。
 1 割り 2 入り 3 思い 4 押し

問題 4 _____に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

- [16] 戦争で多くの_____が失われた。
 1 人生 2 生命 3 一生 4 寿命
- [17] この状態がしばらく_____するだろう。
 1 持続 2 相続 3 連続 4 接続
- [18] 何をするにも_____な方法をとっては、成功は難しい。
 1 安静 2 安価 3 安易 4 安定
- [19] 弟は毎日、研究所で科学の_____をしている。
 1 実行 2 実験 3 実用 4 実感
- [20] あの女はどんな難しいことでも_____でやってのける。
 1 平気 2 陽気 3 素直 4 利口
- [21] 素肌の美しさが目に_____。
 1 はげしい 2 まぶしい 3 ひとしい 4 まずしい
- [22] 彼は精神が錯乱していたと_____できる。
 1 指定 2 仮定 3 断定 4 勘定

問題 5 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

- [23] 彼はいさましい英雄として表彰された。
 1 勇敢な 2 おとなしい 3 輝かしい 4 男らしい
- [24] 夜中に怪しい人から電話がかかってきた。
 1 わるい 2 おかしい 3 つまらない 4 疑わしい
- [25] 雨のため、運動会の予約を取り消すことになりました。
 1 打ち消す 2 もみ消す 3 取り除く 4 取り上げる
- [26] 母は今年は自分でおせち料理を作ると言った。
 1 こしらえる 2 できあげる 3 立ち上げる 4 くつろぐ
- [27] 夕食会から帰ってきた学生たちが腹痛を訴えて、病院で診察を受けた。
 1 告げて 2 主張して 3 申告して 4 告訴して

問題 6 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

- [28] 今にも
 1 去年は公務員試験に失敗したが、今にもそれ以上の成績を出したい。
 2 あの子は今にも泣き出しそうな顔をしている。

3 日本語を勉強して5年経ちましたが、今にも日本へ行ってない。

4 5年前から会計の仕事していますが、今にも続けています。

29 だいたい

1 あの二人はだいたいあやしい。

2 地下鉄はだいたいここを通る。

3 明日の会議はだいたい2時に終わる。

4 田中さんは明日だいたい来るだろう。

30 くっきり

1 天気にも恵まれたので、富士山がくっきり見えた。

2 北海道の景色はくっきり美しい。

3 この映画の中では彼の演技がくっきり目立っていた。

4 これからの進路についてくっきり悩んでいる。

31 どっと

1 あの映画スターが車から降りるとファンたちがどっと押し寄せる。

2 どっと寒くなりました。

3 資料を用意しましたので、会議の前にどっと読んでください。

4 昨日の試合は全力走らなかったのが、どっと最下位になった。

32 引き出す

1 帰ろうとする彼女をなんとか引き出した。

2 バスは台風のため、観光客を乗せて出発地に引き出した。

3 仕方なくこの仕事を引き出した。

4 先生は学生の才能をうまく引き出した。

問題7 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

33 会社でさんざんパワハラを受けた()来月までで解雇を通告された。

1 とたん 2 あげく 3 以上 4 ことに

34 今後も事情が許す()皆さんの活動に参加させて頂きたいと思います。

1 とおり 2 だけ 3 ほど 4 限り

35 電気代の関係で、暑くても一日中クーラーを使う()。

1 ことにはならない 2 までもない
3 わけにはいかない 4 よりほかはない

36 あんな暴力夫なんて、別れられる()別れたい。

1 ことには 2 ものなら 3 わりには 4 わけには

37 新しい年を迎える()、自分なりに「今年こそ!」という決意を並べ立てています。

1 たびに 2 ばかりに 3 うちに 4 とおりに

38 最近年取った()、小学生時代が懐かしくなってきました。

1 うえで 2 すえに 3 せいか 4 くせに

39 このハンドバッグは有名なデザイナー()設計された。

1 にとって 2 によって 3 に対して 4 として

- 40 山道は登れば登る()険しくなる。
 1 以上 2 限り 3 ほど 4 次第
- 41 後ろの人もよく聞こえる()大きな声で話して下さい。
 1 とおりに 2 ために 3 ばかりに 4 ように
- 42 ストレスをためている人間は横暴な振る舞いをし()なものです。
 1 がち 2 かけ 3 くせ 4 よう
- 43 「時間がない」などというのは言い訳()。
 1 に限らない 2 に過ぎない 3 によらない 4 に及ばない
- 44 納豆は健康に良いとマスコミが報道した()、納豆の売上が倍増した。
 1 とたん 2 ついでに 3 次第 4 うちに

問題8 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

- 45 ★ 誤字が現れるようになった。
 1 手書きでは 2 普及するにつれて
 3 生じないように 4 パソコンが
- 46 この店は、店主一人で ★ 多い。
 1 驚くほど 2 調理もサービスも
 3 こなすのに 4 料理の種類が
- 47 北国の冬は交通 ★ 苦しめられる。
 1 様々な面で 2 雪に 3 をはじめ 4 生活の
- 48 桜の花は ★ 花である。
 1 にとって 2 日本人 3 春を 4 象徴する
- 49 日本が抱える課題は、 ★ 。
 1 に伴う 2 減少だ 3 人口と労働力の 4 「少子高齢化」

問題9 次の文章を読んで、[50]から[54]の中に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

テレビ、パソコン、携帯電話といった高度な情報機器があふれる現代では、知らぬ間に目が酷使されて、さまざまな目の病気に悩む人も急増しています。

そもそも人間は、日の出[50]起き、日が沈んだら眠るという自然のリズム[51]生活してきました。それが今では、目を休める夜の時間帯に行動するのが普通になっています。

しかも、パソコンを使って仕事をしたり、携帯電話でメールを打ったりする機会は増える[52]なので、目が悪くなるのも無理はないでしょう。

もっとも、目の病気にかかった[53]、失明や視力の急低下といった症状がすぐに出るわけではありません。たいていは深刻な症状が出る前に、目の異常を知らせるサイン(初期症状)が現れます。

したがって、主な目の病気にはどのような初期症状があるのかを[54]、日ごろから自己チェックを行うことが早期発見には欠かせません。

- 50 1 とすれば 2 とともに 3 としたら 4 ところに

- | | | | | |
|----|--------|---------|----------|-----------|
| 51 | 1 に沿って | 2 について | 3 にわたって | 4 によって |
| 52 | 1 気味 | 2 次第 | 3 以上 | 4 一方 |
| 53 | 1 末に | 2 ばかりに | 3 からといって | 4 かぎり |
| 54 | 1 知る限り | 2 知っておき | 3 知らないで | 4 知らないうちに |

問題 10 次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)

まだ幼かった頃、近所の原っぱ(注1)で紙芝居(注2)を見終えた後、夕ごはんに間に合うように走って帰った夕暮れの美しさは今も忘れない。あの頃、時間とか、自分を取りまく(注3)世界を、一体どんなふう感じていたのだろう。一日が終わってゆく悲しみの中で、子どもながらに、自分も永遠に生きられないことを漠然と(注4)知ったのかもしれない。

①それは子どもがもつ、本能的な、世界との最初の関わり方なのだろうか。

(星野道夫 『旅をする木』による)

(注1) 原っぱ: 広くて、多い草などが生えた土地

(注2) 紙芝居: 物語の場面を連続的に描いた絵を、順番に1枚ずつ出して、またそれに合わせて説明するもの

(注3) とりまく: 囲む

(注4) 漠然と: ぼんやりして、はっきりとしないさま

55 「①それ」というのは何か。

- 1 夕暮れがとても美しいということを知ること
- 2 自分を囲む世界が悲しいということを知ること
- 3 一日が終わってしまうのが悲しいということを知ること
- 4 自分にもいつか終りがあるということを知ること

(2)

最近、登校拒否の生徒が増えているそうだ。病気以外で年間30日以上欠席した生徒は、中学生で100人に1人いるらしい。学校に行きたくないと思っている生徒、つまり潜在登校拒否児はその10倍もいるという。ところが、登校拒否児について、真剣に対応している現場の教師は皆無に近い(注)のが現状である。教育学者や心理学者も具体的な解決策を明示するに至っていない。しかし、彼らにとって本当に必要なのは、親の意識の改革だという。過度の期待をやめ、束縛から解いてやると、彼らは自然と学校に戻っていくのである。

(鄭玉和、水谷信子 『新世紀日本語 第三冊』による)

(注) 皆無に近い: ほとんどない

56 「親の意識の改革」とは、ここでどのような意味なのか。

- 1 教育学者や心理学者に早く解決策を示してもらおうよう働きかけること。
- 2 親が子どもに対して期待しすぎず、縛り^{しばり}付け^{つけ}ないようになること。
- 3 現場の教師にもっと強く対策を促すこと。
- 4 子どもに対してもっと厳しくすること。

(3)

創立 30 周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。業界の非常に厳しい環境にもかかわらず、当社が順調に創立 30 周年を迎えられることに對し、OB として格別^{かくべつ}な喜びを感じております。

わたくしが経営の任に当たりましたのは平成 11 年から 5 年間でございますが、ちょうど「失われた十年」と呼ばれる時期の前半で、どこの企業も生き残り^{いのこ}に懸命な時代でありました。

当社も既に前年^{ぜんねん}には赤字^{あかじてんらく}転落しており、わたくしとしても先行き^{さき}に大変な危機感を持っておりました。そこで、わたくしが最初^{ちやくしゆ}に着手^{てつていてき}したのは徹底的なムダの排除運動^{はいじよ}でした。この運動の真の狙い^{けいひ}は単なる経費削減^{きふさくげん}ではなく、運動を通じて社員一人ひとりの意識を改革することと、それにより企業体質^{たいしつ}を抜本的に改革すること、さらに、…

- 57 東京インターナショナル・ユニクロ創立 30 周年記念式典^{きねんしきてん}でされた、あいさつのいくつかが社内報に載った。上のあいさつは誰のものか。

- 1 現社長
- 2 元社長
- 3 役所から来る官僚
- 4 インターナショナル・ユニクロのあるお客様

(4)

私にとって「親友」とは、(①)相手です。

「それは間違っているわ。〇〇じゃない」。「いや、そんなことはないよ。〇〇だよ。〇〇だからね」。「そんなの変。〇〇だから〇〇なのよ」。「〇〇ってことはそうだけど、〇〇だから××だよ」。(中略)

でも、日本ではこういう議論はなかなかできません。(中略)多くの人は意見が異なると、すぐ不快になります。そしてその不快感を前面に押し出して、その不快感で相手をだまらせようとします。

それゆえなおさら、(①)相手が私には貴重で、そういう人が、私にとって「親友」と呼ぶにもっともふさわしい人なのです。

(小野田博一 「論理的な作文・小論文を書く方法」による)

58 次の文の(①)に入るものとして、最も適当なものはどれか。

- 1 楽しく意見を戦わせることができる
- 2 自分の意見をよく理解してくれる
- 3 意見が異なっても議論をしなくてすむ
- 4 意見が異なると、相手をだまらせようとする

(5)

就職ということばに、あなたはどんなイメージをいただいていますか。不安・期待・焦燥・元気・ストレスなどのことばが浮かぶかもしれません。なぜでしょう。

それは、あなたが社会という大航海に船出するスタートラインに立つだけではなく、あなたのアイデンティティー(自分が自分であることの認識)に関わる重要な要素をもっているからです。収入が多いとか余裕の時間が持てるというフリーターやアルバイト時代の選択とは異なり、就職はあなたの人生の進路を決めるだけに、この仕事は向かないのではないとか、自分らしさを生かせないのではないかなど、あらゆる側面から検討しなければならないのです。

(児島建次郎編著『コミュニケーション力——豊かに生きるための知的技法』による)

59 就職という言葉に関するさまざまな気持ちが湧いてくる理由は、何か。

- 1 自分をよく見つめる各条件が含まれているから
- 2 アルバイト生活にさようならと言えることに近いから
- 3 定年までの人生を決めることと見てもよいから
- 4 若者がよく自分の人生に悩んでいるから

問題 11 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

「リンゴのような頬をした子供」という表現から、私たち日本人は赤い色を思い浮かべるのが普通だと思う。ところが、国が変わり、言葉が違ふと必ずしもそうではない。現在、リンゴという果物は、熱帯地方を除けば世界に広く栽培されているから、たいていの言語にはリンゴをさす言葉がある。しかし、リンゴということばを聞いて、どんな色を第一に思い浮かべるかということになると、意外なことに、(①)のである。

考えてみると、たしかにリンゴにはさまざまな色がある。熟しても青(緑)のままのもの、黄色のもの、赤と黄の混じったものなど、赤だけではない。しかし、日本では、ことばとしての「リンゴ」は「赤いもの」の中に含まれているのだ。だから、②小さな子供たちに、ことばの遊びの中で「赤いものなあに」と聞けば、「リンゴ」という返事が返ってくるし、連想ゲームでも赤と言えればリンゴと、打てば響く(注1)ように出てくるのである。難しく言うと、日本では文化としてのリンゴは赤と決まっているということになる。そこで「リンゴのような頬」の「リンゴのような」という表現は、日本語では赤の形容として使

われるので、青(緑)や黄色を連想^{れんそう}する人はまずいないのである。

しかし、実際のリンゴは赤だけではないのだから、リンゴと聞いて青(緑)を連想^{れんそう}する文化があっても、すこしもおかしくないはずである。その代表がフランスである。フランス語ではリンゴをポムというが、ポムは青(緑)と決まっている。子供の絵本を見ても、リンゴはいつも青(緑)で描かれているし、ことば遊びで青は、決まってリンゴと結びつく。

果物の中で赤と言え、さくらんぼ(注2)を連想^{れんそう}するのが普通のようなのだ。……

このように、世界中どこにでもある同じものが、ひとたび文化としてのことばの枠の中に置かれると、日本人が考えもしない別の意味を与えられるのである。

(鈴木孝夫 『ことばと文化』による)

(注1) 打てば響く^{うひび}: すぐ、その反応^{はんのう}・効果が現れる

(注2) さくらんぼ: 果物の一種

60 (①)に入る文として、適当なものはどれか。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 赤とはきまっていない | 2 さまざまと答えることもある |
| 3 赤以外の色ばかりである | 4 別の色に理解していない |

61 「②小さな子供たちに、ことばの遊びの中で「赤いものなあに」と聞けば、「リンゴ」という返事が返ってくる」とあるが、なぜか。

- 1 子供がみんな赤いリンゴを食べるのが好きだから。
- 2 子供が小さい頃からずっとリンゴの色が赤いと親に教えられてきたから。
- 3 子供が赤いリンゴ以外の果物をまだ考え出せないから。
- 4 子供が特定の文化に育てられてきたから。

62 本文の内容に合うものは、どれか。

- 1 ことばと文化はそれぞれ違うものだ。
- 2 ことばに文化が含まれている。
- 3 ことばを文化という環境において考えてみるべきだ。
- 4 色を表すことばが日本語にはいっぱいある。

(2)

方向音痴^{ほうこうおんち}(注1)の直し方^{ほうがく}ってないものかといつも私は悩んでいる。どこで①そうなたかを考えてみると、方角^{ほうがく}(注2)に弱いのは小さいころからだった。小学生の時に学校で、東西南北^{とうざいなんぼく}を教わったときに、「北に向かつて、お箸^{おそ}を持つ手のほうが東、お茶碗を持つ手のほうが西です」と言われた。

私はその時納得^{なとく}した(注3)ののだが、家に帰ると頭が混乱した。私の父親は左利き^{ひだりき}(注4)だったので、並んでご飯を食べていると、違う方向に箸を持っていることになる。②私にとっての東と、父にとっての東が違うのである。

「いったい、うちでは東西南北^{とうざいなんぼく}はどうなっているんだろう」と首をかしげた(注5)まま、先生にも聞かずにほったらかし(注6)にしておいたので、それがいまだに尾^おを引^ひいている

(注7)のではないかと思っているのだ。

(③)、引っ越した直後、^{もより}最寄(注8)の駅からアパートまでまともに帰れたことがない。最低2度か3度は近所で^{そうなん}遭難する(注9)。ぐるぐると付近を30分程度歩いたあげく、「はて、アパートはこんなにおかつたかしら」とやっと迷っていることに気づく^{しまつ}始末なのである。

(群ようこ 『ホンの本音』による)

(注1) ^{ほうこうおんち}方向音痴:方向が分からなくなってしまうこと、またその人

(注2) ^{ほうがく}方角:方向

(注3) ^{なっとく}納得する:理解する。承知する

(注4) ^{ひだりき}左利き:右手よりも左手のよくこと、またその人

(注5) 首をかしげた:不思議などの思いで首を傾ける

(注6) ほったらかす:すべきことをしないで、打ち捨てておく

(注7) ^{おひ}尾を引いている:物事の影響などがずっと後まで続く

(注8) ^{もより}最寄:(いくつかある中で)最も近いこと。すぐ近いあたり

(注9) ^{そうなん}遭難する:道に迷ってしまう

[63] 「①そうになったか」とはどういう意味か。

- 1 方向音痴になった原因
- 2 方向音痴になってしまったこと
- 3 方向音痴の直し方を探し始めたきっかけ
- 4 方向音痴を直したいと思うようになったこと

[64] 「②私にとっての東と、父にとっての東が違う」とあるが、どういうことか。

- 1 父親と私は利き手が違うので、学校で教わったことは全く間違いだということ
- 2 父親は左利きなので、父が箸を持つ手のほうが本当の「東」だということ
- 3 父親は左利きなので、学校で教わった「東」とは逆になってしまうこと
- 4 父親はずっと箸を持つ手のほうが「東」だと思ってきたということ

[65] (③)に入る言葉として、適当なものはどれか。

- 1 ところで
- 2 そこで
- 3 つまり
- 4 たとえば

(3)

ほどよく空いた電車の中で、暖かい^ひ陽ざしを浴びながら、五、六歳の男の子が、^{しき}頻りに隣に座った母親に話しかけている。「アツギ(注1)ってかあさん、みんな^{あつぎ}厚着してるからだよね」。母親は^{とうわく}当惑(注2)気味にはほほえんで(注3)いるだけだ。空いているので、男の子の声は車内の^{すみずみ}隅々にまで聞こえてしまう。それにしても、この子は変わった単語を知っているものだ。もしかして家には年寄りもいて、厚着がいいとか悪いとかよく話題になるのだろう、などと思う。

電車が次の駅に着くと、こんどは「エビナ(注4)ってかあさん、エビがたくさんとれるんだよね」。母親の返事がないものだから、「じゃないかな? エビがナイからエビナなのかな」。こんな小田急線(注5)の地名解釈につり込まれて(注6)いるうちに、①私はもう降りなければならなかった。この子はなんと頭のいい子なんだろうと思いつながら。いや、頭のいいのはこの子にかぎらない。この年頃のこどもたちは、おとなが永遠(えいえん)に失ってしまった、ことばの獲得(かくとく)についての、あの黄金時代(おうごんじだい)のさなか(注7)にいるのだ。ことばはまだ響きの中に生きていて、こどもはその響きと対決(たいけつ)(注8)、自分なりに解釈(かいしゃく)し、秩序(ちつじょ)づけようとして、必死(ひっし)でもがいて(注9)いるのだ。②そんなとき、おとなは決して、文字や書物(しょもつ)のさかしらな(注10)知識をふりかざして(注11)、こどもの実験をあざ笑(あざわら)っては(注12)ならない。おとなの知識は、自らの経験をこえた他力(たうりき)によるものだが、こどもの解釈は、ひたすら自力(じりき)(注13)で挑んだ作品である。

(田中克彦 『ことばの自由をみとめて』による)

(注1) アツギ:厚木(駅名)

(注2) 当惑(とうわく): どうしたらいいか困って迷っている様子

(注3) ほほえむ: にこにこ笑う

(注4) エビナ:海老名(駅名)

(注5) 小田急線(おだきゅうせん):地下鉄線路(せんろ)の一つ

(注6) つり込む:興味を持たせて夢中にさせる

(注7) さなか:ちょうど～をしている途中

(注8) 対決(たいけつ)する:出会う。ぶつかる

(注9) 必死(ひっし)でもがく:一生懸命(ちやうしやう)に頑張る

(注10) さかしらな:何でも知っているような

(注11) ふりかざす:使う

(注12) あざ笑(あざわら)う:笑う。嘲笑(ちやうしやう)する

(注13) 他力(たうりき):外側・外部からの力 自力(じりき):自分・内部からの力

66 「①私はもう降りなければならなかった」というときの筆者の気持ちはどんなものだったか。

- 1 もっと男の子の話が聞きたいという残念な気持ち
- 2 うるさい車内から逃げられるという気持ち
- 3 母親が子どもに注意するべきだという気持ち
- 4 男の子の話の意味が理解できないという気持ち

67 「②そんなとき」とはどんなときか。

- 1 電車の中で突然こどもが自分の考えを述べたとき
- 2 こどもが自分の力で理解しようとしているとき
- 3 こどもがいる電車から降りるとき

4 こどもにはなしかけられたとき

68 この文章で筆者の言いたいことは何か。

- 1 母親は子どもが興味深いことを言ったとき、何も言わないほうがよい。
- 2 こどもがあやまった解釈をしているときは、厳しく注意する必要がある。
- 3 おとなになると忘れてしまうため、こどものうちにことば遊びをするべきだ。
- 4 こどもの自由な考え・アイディアをおとなの知識で邪魔してはならない。

問題 12 次の文章は、「国際結婚について」というテーマをめぐる三人の意見である。これらの文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

A 広い視野、国際的な感覚を持って、「地球人」を目指している今日のわれわれにとっては、国際結婚は決してめずらしいことではないだろう。国際結婚をするからには、相手の国の習慣も尊重^{そんちよう}しなければならない。しかし新聞や雑誌によれば、国際結婚には「一目ぼれ(注1)」のケース(注2)が少なくないという。そういうロマンチックな出会いを認めないわけではないけれど、結婚はだれにとっても人生の一大事^{いちだいじ}なので、もう少し慎重^{しんちよう}に考えるほうがいいのではないだろうか。たとえ言葉が通じなくてもコミュニケーションが取れるとよく耳にするけれど、言葉をうまく聞き取ることができないのに、相手の国の文化や習慣をどう理解できるのだろうか。

B 国際結婚については、いろいろな意見がある。賛成か、反対か、中立^{ちゅうりつ}のこともある。わたしは国際結婚はいいことだと思う。

愛に国境^{こっきょう}はない。愛し合っている二人にとって、最後に結婚できるのは一番幸せなことだと思う。二人の生活習慣も違うし、ことばも違うけれど、愛があればそんなことは問題じゃないだろう。結婚する前に、結婚生活について「どうすればいいか」とじっくり話し合う。それは、結婚する二人にとっていいことだと思う。

C 日本人同士の結婚だと問題になるようなことがほとんど話にならなかったのが楽です。例えば、わたしは高卒^{こうそつ}で妻が大卒^{だいそつ}(注3)だとか、姉がバツイチ(注4)だとか、家が^が柄^{がら}が合わない(注5)とか、年が離れているとか。ほかに、妻とその両親に変な見え^{いえ}がないので、それも良い。

(注1) 一目ぼれ: 一目見ただけで心を引かれること

(注2) ケース: 場合

(注3) 高卒: 「高校卒業」の略語。大卒: 「大学卒業」の略語。

(注4) バツイチ: 離婚を1回したこと

(注5) 家が^{いえがら}柄^{がら}が合わない: 家の社会的地位、名誉などが違う

(注6) 見え:よくない見方。偏見^{へんけん}

69 国際結婚に対して、三人の態度はそれぞれ何か。

- 1 Aは慎重派で、Bは賛成派で、Cはそれに触れていないので分からない。
- 2 AとBは、賛成派で、Cは反対派である。
- 3 AもBもCも反対派である。
- 4 AもBもCも賛成派である。

70 A、B、C三人の意見について、正しいのはどれか。

- 1 Aは、ロマンチックな出会いなんか絶対ありえないと主張している。
- 2 Bは、愛が生活習慣や言葉などと同じように重要であると述べている。
- 3 Cは、自分が高卒ということを恥ずかしく感じていたと言っている。
- 4 AもBも言葉の重要性を否定していない。

問題13 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

「会社員」という呼び方の曖昧さをさらに拡大した言葉として、「サラリーマン」がある。職業を問われた際に、「サラリーマンです」と答えるケース(注1)は、「会社員です」と答える場合と同じほど多いだろう。そこでは、「会社員」と「サラリーマン」はほぼ同義^{どうぎ}の語として使われているような印象を受ける。

たしかに、労働のイメージ、仕事の感^{かんしよく}触(注2)から遠く隔^{へだ}たっているという点で、この両者には共^{きやうつう}通^{せいかく}の性格(注3)が認められる。ただ一点、大きく異なるのは、「サラリーマン」なる呼^{こしやう}称^{しやう}には「会社員」には見られなかった金^{きんせん}銭^{せん}の要^{よう}素^そが加^{くわ}わっていることである。「サラリーマン」を日本語になおせば、「給料生活者」となるだろう。「(A)」といった際には、とにもかくにも(注4)会社に働きに行っている人間、仕事の場として会社に勤めている人間を指すが、「サラリーマン」には仕事の場所を示すイメージさえない。仕事の内容はもちろん、働いている場所までも関^{かんしん}心^{しん}の外^{そと}に投^なげ^だ出^だされている。そして仕事の結果支払われる給料のみがクローズアップされている(注5)のである。その意味では、「(B)」という言葉は、労働よりもむしろ消費に顔を向けているともいえる。

ことわっておかねばならないが、「サラリーマン」なる言葉自身に問題があるのではない。人間を経済生活の面で捉えようとした時、彼の生活^{もと}の資^{もと}がどのようにもたらされているかをもとに区別するに当って、年金生活者とか、自^{じえいぎやうしゆ}営^{ぎやう}業^{ぎやう}主^{しゆ}とか、自由業にたずさわる(注6)ものとかとともに「サラリーマン」(給料生活者)が置かれても少しの不思議もない。

問題は、そのような収入面での区分に属する言葉が、職業の名を問われた時に出てくる場所にこそある。つまり①そこでは、職業とは給料のことに他ならない。そして考えてみれば、これはわれわれの労働^{じつたい}の実態を皮肉にもきわめて正確に表現しているのかもしれないのである。労働が自己表現の場ではなく、仕事に充実した手^て応^{ごた}え(注7)が得られ